

4) 親子期の実態と評価、今後の取り組みについて

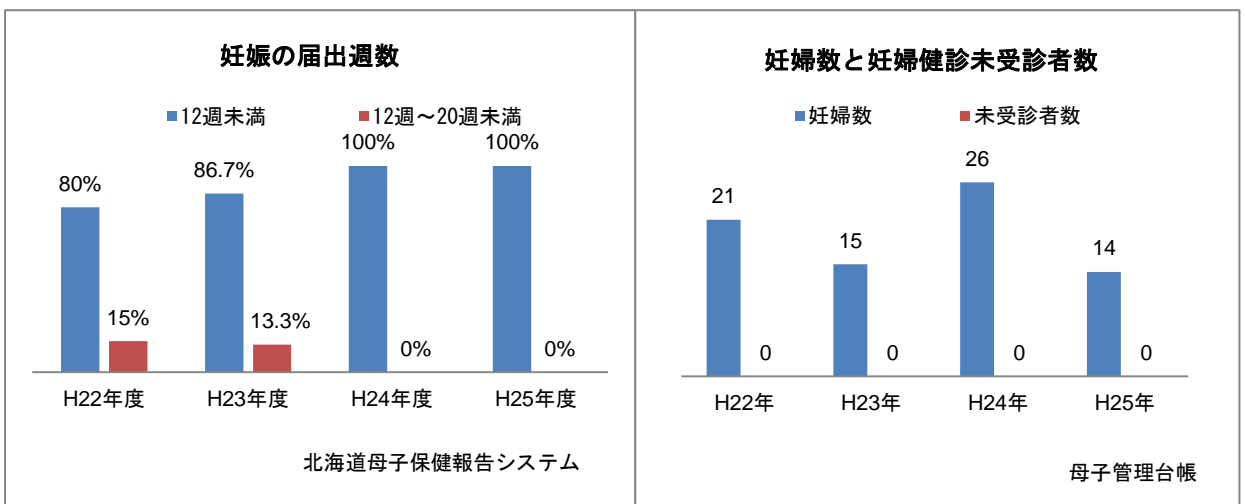
ライフステージ: **親子期**

領域: **こころの健康**

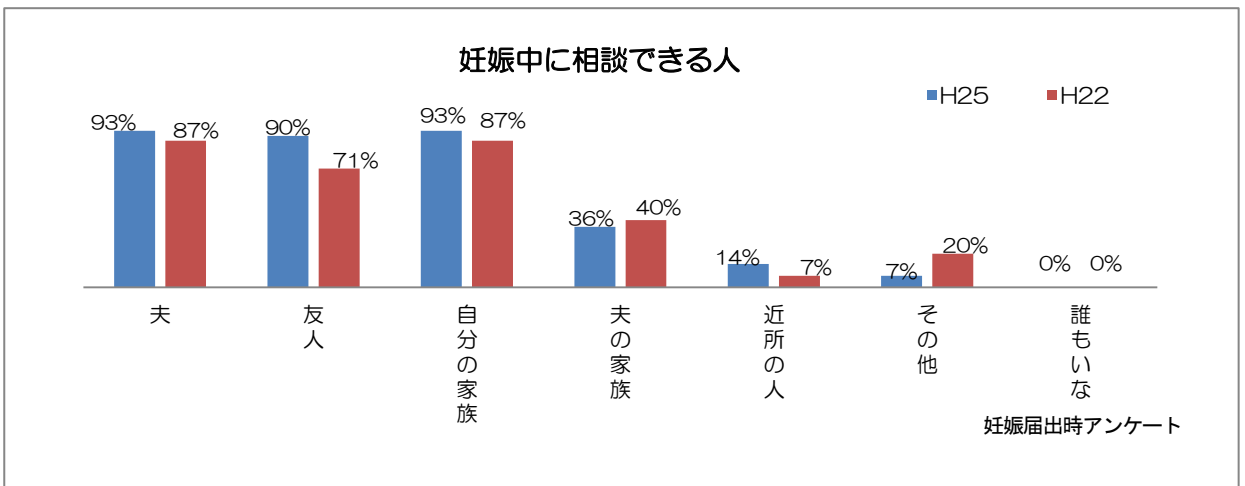
目標	ストレス解消法を持ち、楽しく笑顔で子育てしましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	ストレス解消法があると答えた割合の増加	なし (今後調査)	100%	小学生保護者 93%	B	100%
	子どものいる生活について楽しいと感じている割合の増加		100%	小学生保護者 81% 乳児保護者 87%	B	100%
	ゆったりとした気持ちで子どもと関わっている割合の増加		100%	小学生保護者 62%	D	100%
	自分の悩みや困り事を相談できる人がいる割合の増加		100%	小学生保護者 96% 乳児保護者 96%	B	100%
現状と課題	<p>ストレス解消法の有無</p> <p>H24 小学生保護者アンケート</p>	<p>子どものいる生活</p> <p>H24 小学生保護者アンケート</p>	<p>お子さんとゆったり過ごせる時間</p> <p>H24 小学生保護者アンケート</p>	<p>相談相手の有無</p> <p>H25 子育てアンケート</p>	<p>相談相手の有無</p> <p>H24 小学生保護者アンケート</p>	
	<p>・ 生後4ヶ月児、小学生の保護者ともに育児に対する疲れ、ストレスを抱えている状況があり、またお子さんとゆったりと過ごせる時間を持つことが難しいと回答されている方が約4割います。</p> <p>・ しかし多くの方に相談相手やストレス解消法があり、ストレスや悩みが深刻化する前に対処されていると考えます。</p>					
	<p>・ 支援が必要な方を早期に発見することができるよう、妊娠期、出産前、子育てアンケートを実施し、対応できるようにすること、また乳幼児健診の問診票に自由記載欄を設け、子育て中の母親が自分の思いを表出できるようにします。</p> <p>・ 楽しく子育てができるよう「地域ぐるみで子育てをする」ことを視点に入れ、子育てサロン事業を社会福祉協議会との連携のもと実施します。また世代間交流事業の実施協力、子育て講演会を実施します。</p>					
	今後の取り組み					

目標	人・世代・地域・色々な交流をしながら子育てをしましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	交流しながら子育てできていると感じている割合の増加	今後調査	今後設定	71%	E	80%
現状と課題	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="217 470 836 949"> <p style="text-align: center;">子育ての交流</p> <p style="text-align: center;">H24 小学生保護者アンケート</p> </div> <div data-bbox="842 470 1474 949"> <p style="text-align: center;">25年度プレママ参加状況</p> </div> </div> <p>・約7割の方が「交流しながら子育てをしている」状況にありました。</p> <p>・平成25年度のプレママ交流会(妊婦の交流)は、8割の妊婦の参加があり、妊婦同士の交流や友達づくりを目的に参加している方が多い状況や交流会の定期的な開催、産後の継続実施を求める声もあります。今後も妊娠期からの交流の機会を大切にしていける必要があります。</p>					
	<p>今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子が集い、楽しく過ごせる場所の提供として、子育てサロンの実施の他、子連れで参加できる行事や事業、子育て支援センターの事業等の情報提供を行います。 ・妊婦同士が集い、その後の育児に繋がりができるよう、プレママ交流会の実施を行います。 					

目標	安心・安全に出産できるよう、母親自身と対児の健康を守りましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	妊娠届出が12週未満である妊婦の割合の増加	92.6%	100%	100%	A	100%
	妊婦健診受診率の現状維持	100%	100%	100%	A	100%
	相談できる人がいると答える妊婦の現状維持			100%	A	100%



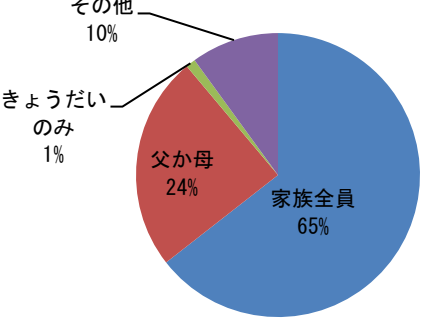
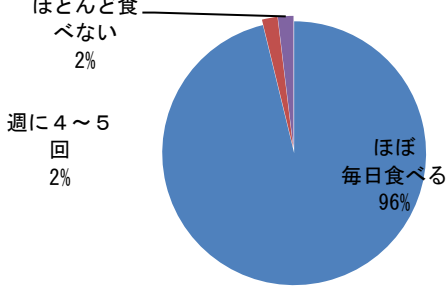
現状と課題



・妊娠届出は平成24年度以降、すべての妊婦が妊娠12週未満に行っている他、妊婦健診についても平成22年度以降、受診率は100%であることから、全ての妊婦が母体や胎児の健康管理を意識しながら妊娠期を過ごし、出産を迎えている状況があります。

今後の取り組み

・妊婦が安心、安全に妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう、妊娠期・出産前のアンケートを実施し、必要な方に早期支援を行うこと、妊婦一般健康診査受診票（健診14回、超音波6回）を発行し、妊婦、胎児の健康管理ができるようにします。
 ・また妊婦同士の交流の場としてプレママ交流会の実施や妊娠期連絡票や養育支援連絡票を活用し、医療機関と連携を取りながら支援します。

目標	一日3回、おいしく食べましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	家族で夕食を食べる割合の増加	中高生 85.4%	90% 以上	小学生 89%	B	小学生 90%
				中高生 なし	E	中高生 90%
朝食を毎日食べる割合の増加	中高生 86.1%	100%	小学生 96% 中高生 なし	E	小学生 100% 中高生 100%	
現状と課題	<p style="text-align: center;">夕食を誰と食べるか</p>  <p style="text-align: center;">H24 小学生アンケート</p>		<p style="text-align: center;">朝食の摂取状況</p>  <p style="text-align: center;">H24 小学生アンケート</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族全員もしくは保護者と一緒に夕食を食べている家庭の割合は89%で、子どものみ、一人で食べている子はほとんどいない状況です。 ・ほぼ毎日朝食を食べる小学生は96%と目標の100%には到達していませんが、大半のお子さんが朝食を毎日摂っています。 ・朝食を摂らない理由には、「食欲がない」「時間がない」などが挙げられ、生活リズムとの関連では「遅寝遅起き」の傾向がありました。 					
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食育の推進については、現在、学校で実施されている食育の内容を確認し、連携について検討する必要があります。 ・適正な体格が維持できるよう、食環境や生活リズムなどについて栄養士、保健師の個別相談が受けられることをIP、広報等を通じて周知していきます。 					

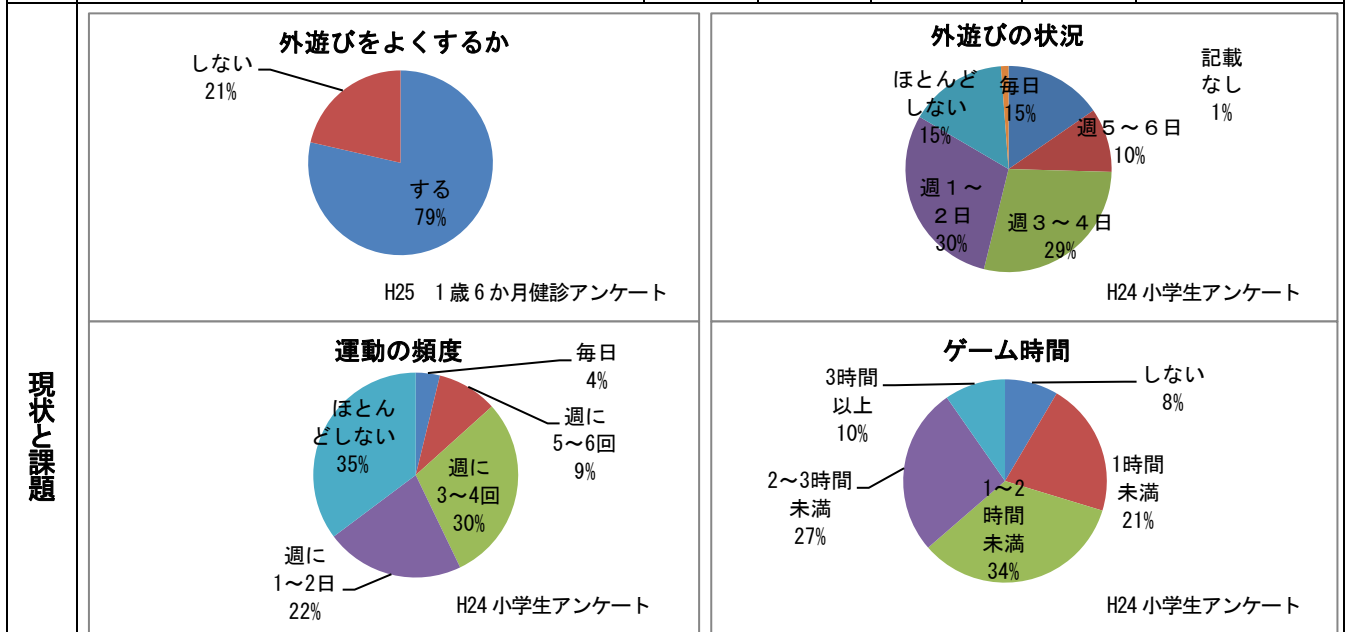
ライフステージ： 親子期

領域： 歯の健康

目標	乳児期からむし歯を予防しましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	むし歯のない3歳児の割合の増加	64%	80%以上	100%	A	100%
	むし歯のない5歳児の割合の増加				E	80%
	12歳の一人あたりのむし歯数の減少	3.0本	2.0本	2.14本	B	2本以下
	むし歯のない小中高生の割合の増加			小学生 33%	E	50%
		中学生 25%	中学生 35% 以上	中学生 なし		
		高校生 32.1%	高校生 35% 以上	高校生 なし		
	ほぼ毎日仕上げ磨きをしている割合の増加 (3歳児)	89.3%	100%	82.4%	D	100%
	ほぼ毎日仕上げ磨きをしている割合増加 (5歳児)			なし	E	100%
	1日2回以上歯磨きをしている小中高生の 増加			小学生 89%	E	100%
中学生 60%		中学生 100%	中学生 なし			
高校生 67.9%		高校生 100%	中学生 なし			
定期的に歯科検診を受けている小中高生の 割合の増加			小学生 50%	E	80%以上	
	中学生 40.5%	中学生 80% 以上	中学生 なし			
	高校生 40.5%	高校生 80% 以上	中学生 なし			

<p style="text-align: center;">むし歯のない子の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1歳6カ月</th> <th>3歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19年度</td> <td>100</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>H20年度</td> <td>100</td> <td>71.4</td> </tr> <tr> <td>H21年度</td> <td>100</td> <td>83.3</td> </tr> <tr> <td>H22年度</td> <td>100</td> <td>64.3</td> </tr> <tr> <td>H23年度</td> <td>100</td> <td>60.7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">南空知地域における歯科保健の地域診断</p>	年度	1歳6カ月	3歳	H19年度	100	87.5	H20年度	100	71.4	H21年度	100	83.3	H22年度	100	64.3	H23年度	100	60.7	<p style="text-align: center;">ほぼ毎日仕上げ磨きをする割合 (3歳児)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19年度</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>H20年度</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>H21年度</td> <td>78.6</td> </tr> <tr> <td>H22年度</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>H23年度</td> <td>82.4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">南空知地域における歯科保健の地域診断</p>	年度	割合	H19年度	93.3	H20年度	88.9	H21年度	78.6	H22年度	89.3	H23年度	82.4
年度	1歳6カ月	3歳																													
H19年度	100	87.5																													
H20年度	100	71.4																													
H21年度	100	83.3																													
H22年度	100	64.3																													
H23年度	100	60.7																													
年度	割合																														
H19年度	93.3																														
H20年度	88.9																														
H21年度	78.6																														
H22年度	89.3																														
H23年度	82.4																														
<p style="text-align: center;">むし歯のない子の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>治療済み</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>33%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">H24 小学生アンケート</p>	状態	割合	あり	26%	治療済み	41%	なし	33%	<p style="text-align: center;">歯磨き回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記載なし</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>3回以上</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">H24 小学生アンケート</p>	回数	割合	記載なし	1%	1回	10%	2回	36%	3回以上	53%	<p style="text-align: center;">定期的な歯科検診</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受けている</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>受けていない</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>記載なし</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">H24 小学生アンケート</p>	状態	割合	受けている	50%	受けていない	49%	記載なし	1%			
状態	割合																														
あり	26%																														
治療済み	41%																														
なし	33%																														
回数	割合																														
記載なし	1%																														
1回	10%																														
2回	36%																														
3回以上	53%																														
状態	割合																														
受けている	50%																														
受けていない	49%																														
記載なし	1%																														
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯のない3歳児の割合は年度によりバラつきがみられます。また3歳以降、年齢が進むにつれて口腔内の状況が悪化している傾向があります。 ・仕上げ磨きについては3歳児で「ほぼ毎日行っている」家庭が82.4%（H23）であり、目標値には達していません。 ・定期的に歯科検診を受診している小学生の割合は50%と低い状況にあります。3歳までは保健センターでフッ素塗布と併せて実施することができますが、3歳児健診終了後、検診受診率は低下する傾向にあります。 	<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、乳幼児健診で実施している歯科検診、フッ素塗布（年2回）の継続とともに、塗布回数や就学前までの料金の助成について検討します。 ・平成28年度に認定こども園が開園することに伴い、フッ化物洗口事業の実施に向けて準備を行います。 ・むし歯予防に関心を高めるため、現在実施している3歳児のむし歯のない子の表彰について、年齢を拡大して実施します。 																														

目標	外で元気に身体を動かしましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	1日30分以上週3回以上外遊びをする子どもの割合の増加	1歳6か月児	60%	なし	1歳6か月児 79%	B
2~6歳児		なし	なし	2~6歳児 なし	E	80%
1日1時間以上週3回以上外遊びをする小学生の割合の増加					E	80%
放課後、休日に身体を動かす機会がある小中学生の割合の増加（週1回以上）			60%	小学生 65%	A	70%
	中学生	50%		中学生 なし	E	
平日1日2時間以上ゲーム等（携帯PCも含む）をして過ごす子の割合の減少	小学生	なし	小学生 35%	小学生 37%	小学生 E	小学生 35%
	中高生	43.3%	中高生 35%	中高生 なし	中高生 E	中高生 35%



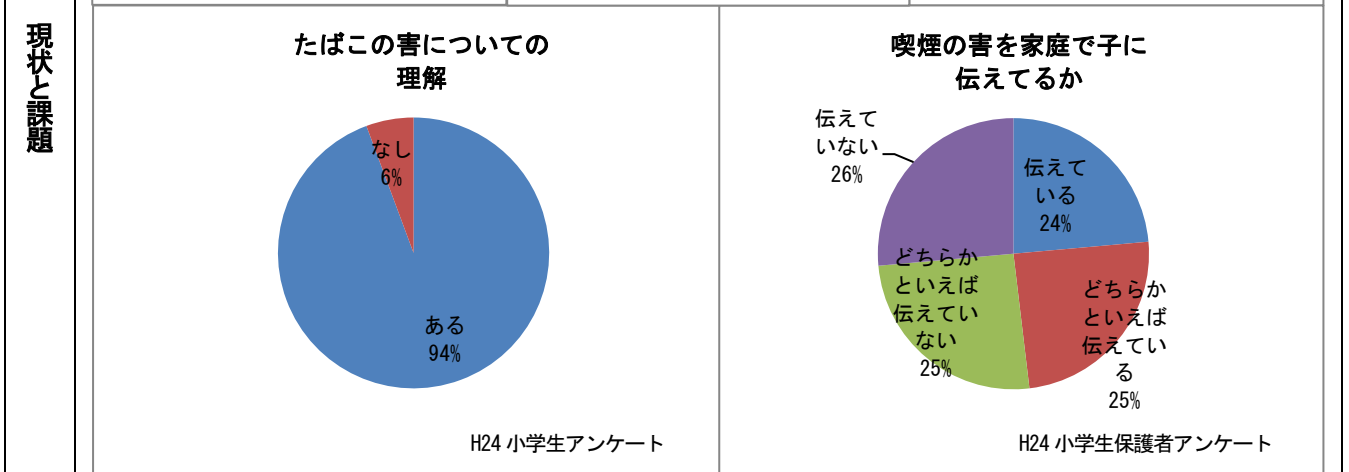
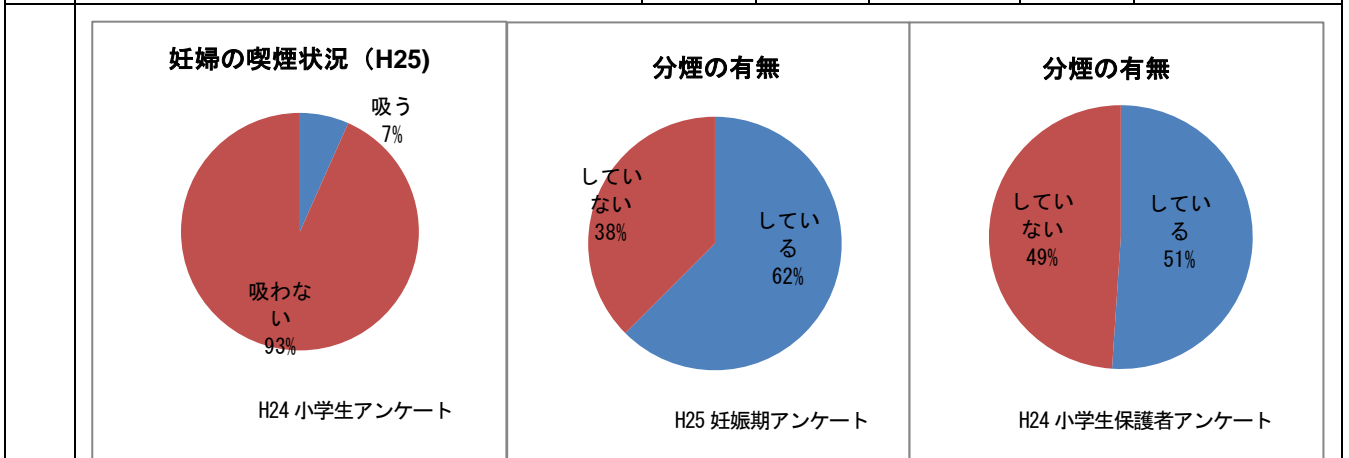
- ・「外遊びをよくする」1歳6か月児は8割でしたが、「週3回以上外遊びをする」小学生の割合は6割と減少傾向にあります。
- ・身体を動かす機会のある小学生の割合は65%であり、目標値を超えていますが、2時間以上テレビゲーム等をして過ごす小学生の割合も約4割と高い状況にあります。長時間のテレビゲームは、外遊びや運動機会を減少させる要因となり、肥満や体力低下など子どもの健康状態への影響も懸念されます。

今後の取り組み

- ・子育てサロンでの運動会の実施など身体を動かす機会の提供のほか、子どもの運動や遊びについて情報提供を行います。
- ・また教育委員会で実施されている事業（小学生の体力測定、ニュースポーツ教室、歩け歩け大会、ヘルシーアカデミー事業等）の実施協力をします。

目標	子どもが適切な生活習慣を身につけ、生活習慣病やがんを予防できるようにしましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	おやつの時間を決めて食べている3歳児の割合の増加	68%	80%以上	76%	B	80%以上
	学童期以降の肥満度「標準」の子の割合の増加	幼稚園	幼稚園	小学生	E	90%以下
		中高生 10.7%	指標変更	中高生 なし		
	早寝をする子の割合の増加	幼稚園 94%	幼稚園 100%	幼稚園 96%	B	就学前 100%
				小学生 37%	E	小学生 100%
	早起きをする子の割合の増加	幼稚園 66%	幼稚園 80%	幼稚園 92%	A	就学前 100%
			小学生 98%	E	小学生 100%	
眠れていると感じている中高生の割合の増加		今後設定	なし	E	今後設定	
現状と課題	<p>おやつの時間</p> <p>H25 三歳児健診問診票</p>		<p>体格（男子）</p> <p>H24 小学生アンケート</p>		<p>体格（女子）</p> <p>H24 小学生アンケート</p>	
	<p>7時までに起床する小学生の割合</p> <p>H24 小学生アンケート</p>			<p>21時までに就寝する小学生の割合</p> <p>H24 小学生アンケート</p>		
	<p>・おやつの時間を決めている3歳児の割合は76%と増加傾向にあります。今後は幼稚園、保育園や小学生の実態把握も必要です。</p> <p>・小学生の体格は、男女ともに標準の割合の子が85%でした。</p> <p>・ほとんどの小学生は、午前7時までに起床していますが、就寝時間は学年が上がるるとともに遅くなる傾向があります。</p>					
	<p>今後の取り組み</p> <p>・生活習慣病予防の観点で正しい知識の普及ができるよう、親子や保護者への調理実習や個別相談の実施を検討するとともに、また肥満予防の観点から適正な体格が維持できるよう、食生活について栄養士や保健師による個別相談が受けられることをIP、広報等を通じて周知していきます。</p>					

目標						
たばこの煙から子どもを守りましょう						
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	妊婦の喫煙率の低下	4.8%	0%	7%	D	0%
	家庭での分煙率の上昇	妊娠期 なし	妊娠期 なし	妊娠期 62%	E	妊娠期 100%
		中高生 33.3%	中高生 50%	中高生 なし		中高生 50%以上
	たばこの影響について知っている子どもの割合の増加	97.5%	100%	94%	B	100%
たばこの影響について子どもに伝えている保護者の割合の増加	73%	80% 以上	49%	D	80%以上	



・平成25年の妊婦喫煙率は7%であり、家族が分煙していない家庭も約4割ありました。妊婦自身の喫煙だけではなく、受動喫煙も流産や早産などの危険性を高めるため、周囲の理解や協力も必要です。

今後の取り組み

・たばこの害について正しい知識が持てるよう、妊娠期から禁煙教育を実施します。妊娠期アンケートを実施し、喫煙状況を把握するほか、プレママ交流会等で分煙指導を行います。また喫煙が自身、周囲の健康に与える影響について理解が深まるよう健康講演会を実施します。

目標	アルコールが健康に与える影響を理解し、未成年が飲酒することのないようにしましょう					
評価指標と目標値	評価指標	現状値 22年度	目標値 33年度	中間値 26年度	目標 達成度	改善目標値 33年度
	アルコール摂取による健康への影響について理解している子どもの割合の増加	90.7%	100%	92%	B	100%
	アルコールの影響について伝えている保護者の割合の増加	48.7%	60%以上	44%	D	80%以上

現状と課題

多量飲酒の影響についての理解

H24 小学生アンケート

多量飲酒の害を家庭で伝えているか

H24 小学生保護者アンケート

・多量飲酒の害を家庭で伝えている割合は44%と目標値の60%に到達していませんが、多量飲酒の健康への影響について理解している小学生の割合は92%と高い状況にあります。

今後の取り組み

- ・妊娠届出時健康相談等の機会に、飲酒による妊娠、出産への影響について伝えます。
- ・多量飲酒の害について正しい知識が持てるように、健康講演会を実施します。